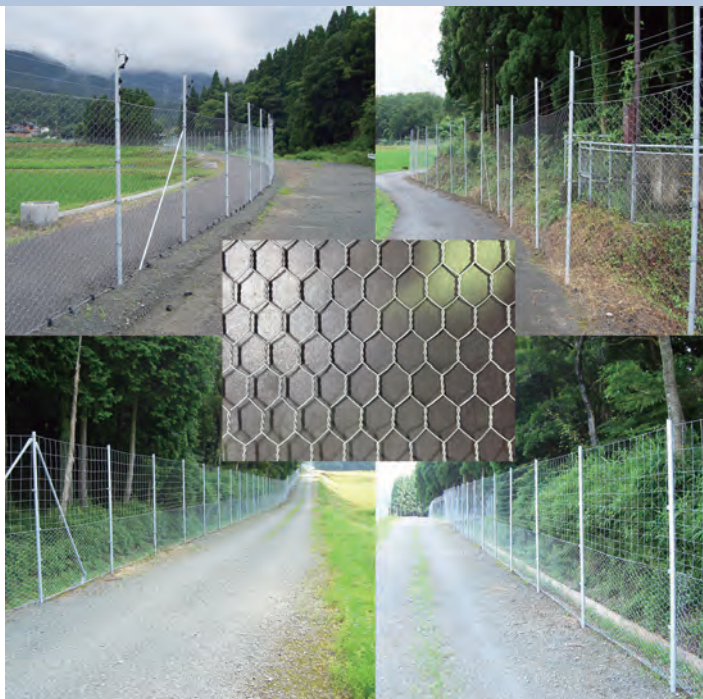


幅広い用途に高機能な 亀甲金網の開発で応える

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



全国で採用進む獣害対策用金網

業務内容 金網の製網から 加工製品まで幅広く提供

亀甲金網をメインに、織り金網の製造および販売で全国展開する。12台の亀甲金網製造機を有し、金網の原反販売から最終形状に近い加工製品まで幅広く提供している。需要先は生産全体の80%が土木工事用で、工業向けが20%弱を占める。一般消費者には日曜大工需要で応え、問屋経由でホームセンター向け製品も一部生産している。

最近では工業用製品をカタログに掲載し受注に応えるネット販売事業へ参画。製品開発や研究機関から金網が有する形状特性やデザイン性が評価され受注拡大、少量多品種のニーズに当たっている。

強み 差別化をテーマに、 新たな発想で製品開発に挑む

金網は付加価値を追求するのが難しい。特にホームセンターなどで展開する一般消費者向け細径の製品は、海外製品との過当競争がある。そこで同社は金網（反物）に1m毎に印を印字し、販売時に必要な分量を表示する技術を確認。店舗店員の作業負担を軽減するとともに、大まかに切断していた余分量を抑えることで無駄を軽減しコストや環境面での改善を実現した。

同社は伝統的な亀甲金網の特性をアピールし多様な用途を模索する。つねに差別化をテーマに新たな発想で製品開発に挑む信念が大きな強みといえる。

用途 開発 亀甲金網の特性を生かし 幅広い用途に展開

亀甲金網は線材を交互に捻り合わせ六角形の網目を形成する。すべての交点が捻

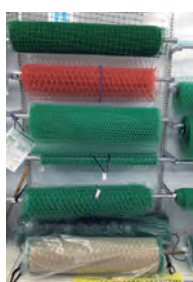
り合わさった構造から網線の一部が断線しても裂け目が広がらない。こうした強度特性を生かし建築・土木資材向けに市場を広げてきた。金網製品では、他にないすべての交点が捻り合わさっている亀甲金網が有する多様な特徴は幅広い用途への可能性が広がる。

現在では獣害対策用金網として採用実績を拡大。平井正明社長は「今後は企業向けにセキユリテイ対策用外柵フェンスを展開し、現存する擁壁など補修時期に入った法面補修への需要に対応していく」と市場展開を語る。

今後の 展望 土木・建築向けに硬鋼線材 製品の開発を進める

一般的な亀甲金網に使用される線材は、柔らかく伸びのある軟鋼線材がベースとなる。一方、主力顧客層である土木・建築資材関連では、耐久性があり高強度な金網を求める傾向が強い。

同社では硬鋼線材での製品開発が今後のテーマと判断し、素材研究に力を入れている。併せて耐食性への課題は被覆線材を含めた新素材研究で亀甲金網の製品化に取り組む。さらに、前述の金網に対する印刷加工技術の確立に加え、より太い線材を骨材に使用し亀甲金網を巻き付け「かご状」にした加工品など新商品開発にも力を入れている。



ホームセンターに
並ぶ一般金網



製品に近い形状
で提供する金網
プレス加工品

当社の歴史



大正12年に「平井金網工場」として創業し、昭和26年に「朝日金網」へ改組。創業以来、建築物の養生金網や地盤安定用骨材、養殖用の漁網といった多様な需要に亀甲金網をメインに織り金網の製造で応えてきました。現在では一品一様の加工品対応など高機能な金網開発に取り組んでいます。

代表取締役 平井 正明さん

<http://awn.co.jp/>

主な事業内容

亀甲金網および各種織り金網の製造・販売

主な取引先(納入先)

建材メーカー、自動車部品メーカー、金網メーカー、金網問屋、流通商社

●住所

〒575-0002
四條畷市
岡山2-21-22

●TEL 072-878-0151
●FAX 072-878-5110
●創業 大正12年 5月
●設立 昭和26年10月
●資本金 7,500万円
●従業員 18名